

記者発表資料

新東名高速道路(浜松いなさJCT～豊田東JCT)のストック効果※

今年のお盆期間は、新東名・東名とも渋滞なくスムーズな通行が可能

新東名高速道路(愛知県区間)の浜松いなさJCTから豊田東JCTまでの延長約55kmが、平成28年2月13日(土)に開通しました。開通後のストック効果※についてお知らせします。

※ストック効果:整備された社会資本が機能し継続的に発揮される、生産性向上等の効果

- (1) 並行する東名の渋滞が大幅減(渋滞回数が9割減)
 - (2) 長距離輸送を支援(新東名の貨物車の9割は長距離利用)
 - (3) 高速バスの定時性が向上(遅れ便数が3分の1に)
 - (4) 沿線地域の観光活性化に貢献(日帰り圏域が2.1倍に)
- (参考) 開通後の交通状況

国土交通省中部地方整備局・中日本高速道路(株)名古屋支社・愛知県・沿線市(浜松市・岡崎市・豊川市・豊田市・新城市)では、「新東名(愛知県)開通効果検討会議」を設置し、新東名高速道路の開通効果について調査・検討を行っております。また、同検討会議のホームページ(<http://www.cbr.mlit.go.jp/road/shintomei>)において交通状況や開通効果などを適時報告していきます。

同時発表 (資料配付)	国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会、国土交通省交通運輸記者会、中部地方整備局記者クラブ、中部経済産業記者会、静岡県政記者クラブ、浜松市政記者クラブ、岡崎市政記者会、豊川市政記者クラブ、豊田市政記者クラブ、新城市政記者クラブ
お問い合わせ先	【記者発表資料の内容について】 国土交通省 中部地方整備局 道路部 道路計画課長 草野 真史 TEL 052-953-8168 【新東名高速道路の事業について】 中日本高速道路株式会社 名古屋支社 広報・CSチーム TEL 052-222-1183(直通)

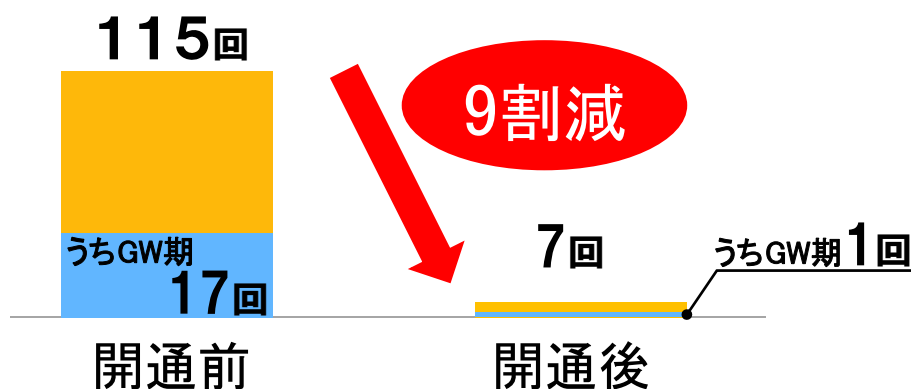


ニホンつながる 新東名[ストック効果①] 開通後の渋滞状況

- 開通後3ヶ月間の渋滞※は、開通前の同時期に比べ、115回から7回と約9割減少。
- 昨年度のお盆期間は、並行する東名で渋滞が発生（渋滞ワーストランキング 4位～27位）
- 今年のお盆期間は、新東名の開通により、並行する東名の渋滞発生予測はゼロ。

※ 渋滞の定義：交通集中により速度40km/h以下の状態が、1km以上（GW・お盆・年末年始は10km以上）かつ15分継続した状況。

東名・新東名の開通後の渋滞回数[3ヶ月間]



※開通前（平成27年2月15日（日）～5月16日（土）[91日間]）、開通後（平成28年2月14日（日）～5月14（土））[91日間]

東名の渋滞状況(平成27年お盆期間)

【平成27年お盆期間の渋滞ワーストランキング】



【三ヶ日JCT付近の渋滞状況】



昨年のお盆期間の
最大渋滞長 31.5km
渋滞を通過する時間 77分

今年のお盆期間は、
新東名の開通により、
東名の渋滞発生予測は**ゼロ**。

※H27お盆期間：平成27年8月6日（木）～8月16日（日）[11日間]

H28お盆期間：平成28年8月6日（土）～8月16日（火）[11日間]

※最大渋滞長31.5km：平成27年8月9日（月）音羽蒲郡IC付近（下り）を先頭に渋滞が発生

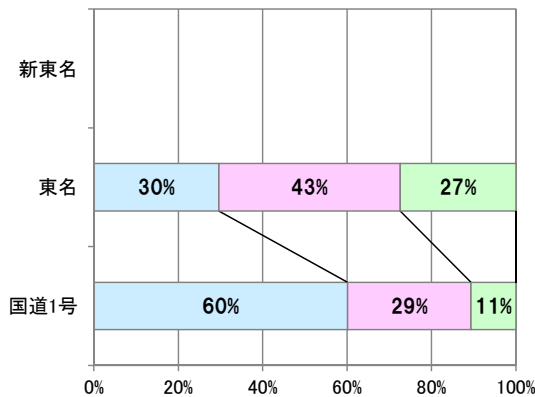
出典：最大渋滞長・渋滞回数・所要時間・渋滞発生予測（中日本高速道路(株)資料）

[ストック効果②] 新東名の開通により長距離輸送を支援

- 新東名開通後、移動距離の長い車両は、新東名利用に転換。
- 特に、物流を担う貨物車は、走行性の良い新東名を利用。

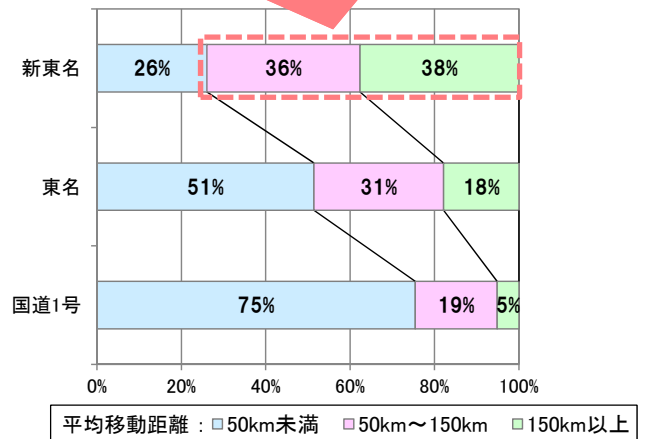
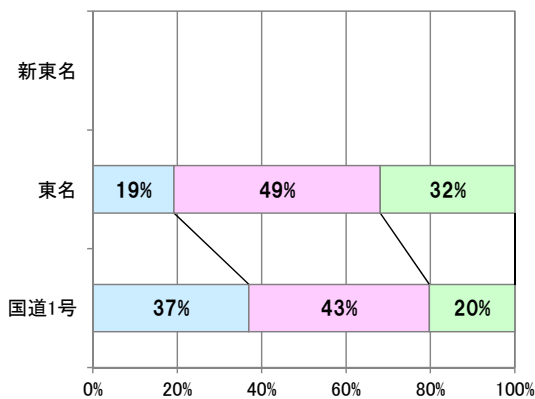
■ 移動距離別の利用割合

<開通前>

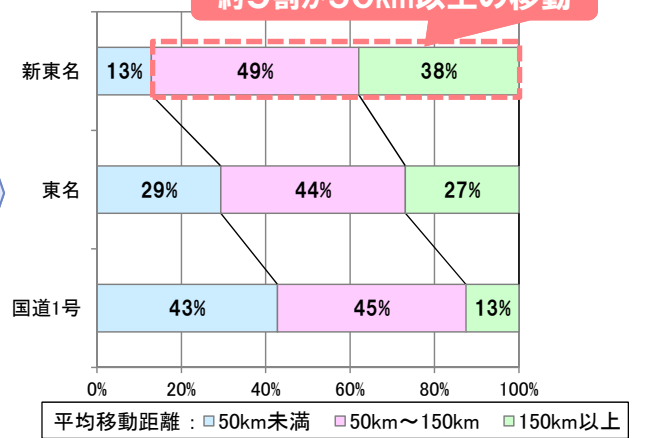
平均移動距離の割合
(全車)

<開通後>

約7割が50km以上の移動

平均移動距離の割合
(貨物車)

約9割が50km以上の移動



出典 ETC2.0ブローチ情報 対象区間：国道1号：本宿町沢渡交差点～岡崎IC西交差点、東名：三ヶ日JCT～豊田JCT、新東名：浜松いなさJCT～豊田東JCT
 平均移動距離：対象区間を走行した車両の移動距離を平均（同一車両において、前後の計測時刻差が60分以上ある場合は別の移動距離として算出）
 開通前：平成27年3月1日～平成27年3月31日（平日）、開通後：平成28年3月1日～平成28年3月31日（平日）
 距離の区分：開通区間延長（55km）と、開通区間が繋ぐ都市、名古屋市～静岡市間の距離150kmから距離分けを設定

■ 新東名高速道路を利用する輸送会社等の声

● 関東まで行きやすくなり、道が走りやすいのでドライバーの体への負担が軽いため利用している。（愛知県内 ドライバー）

● 輸送時間が20分程度短縮できることから、岐阜県（大垣付近）～静岡県（沼津付近）までの輸送で新東名を利用している。（岐阜県内 輸送会社）

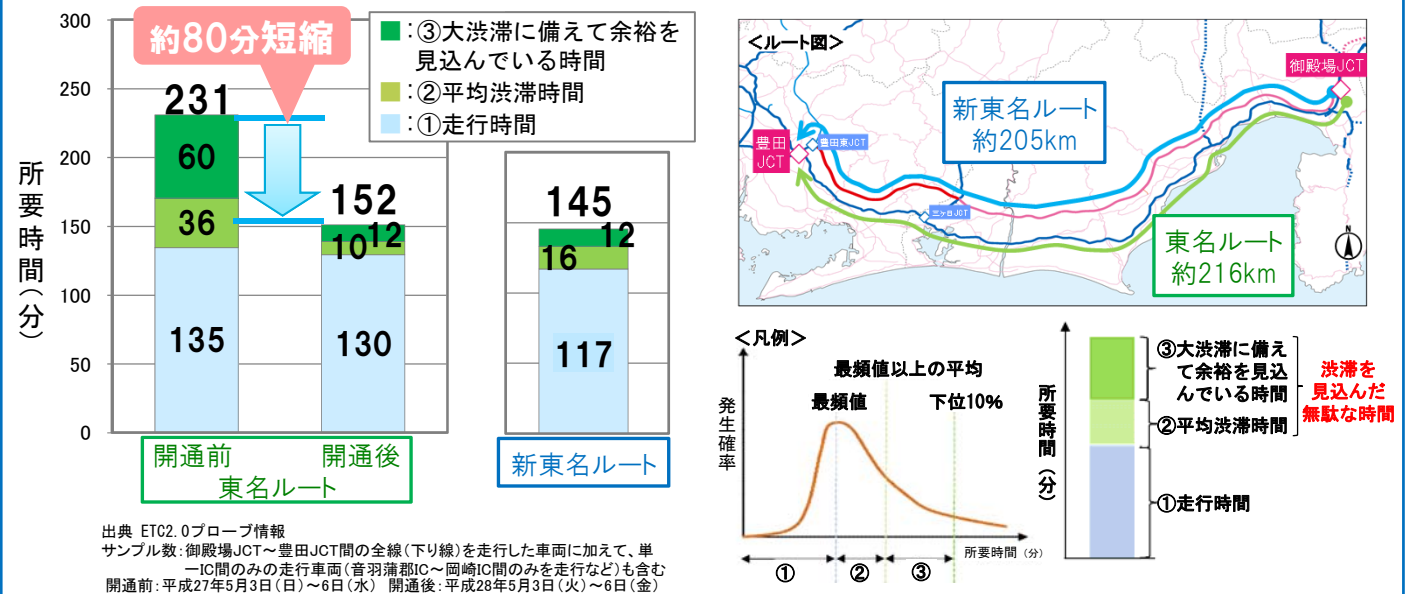
● ドライバーの労務環境が改善傾向し、運行時間の管理がしやすくなることから利用している。（愛知県内 輸送会社）

ニホンつながる
新東名

[ストック効果③] 新東名の開通により高速バスの定時性が向上

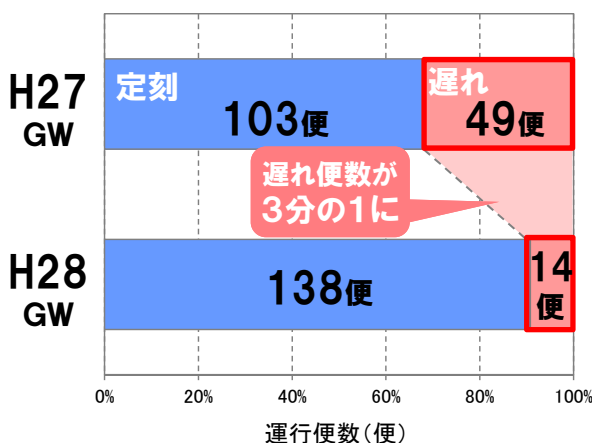
- GW期間の東名の所要時間のバラツキが、約80分短縮、時間信頼性が向上。
- 中部国際空港と静岡県西遠地域を結ぶ高速バスでは、定時性が大幅に向上し、遅れ便数が3分の1に。
- 今年のお盆期間も、渋滞の大幅減で、定時性の向上が期待。

■ GW期間中の東名（御殿場JCT～豊田JCT）下り線の時間信頼性が向上

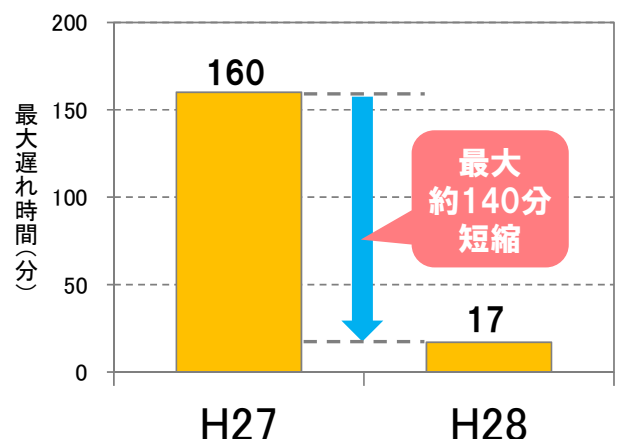


■ 中部国際空港～浜松間の所要時間が安定

<GW期間の到着実績>



<GW期間の最大遅れ時間>



出典: 遠州鉄道(株) 遠鉄バスHPの空港直行バスe-wing「遅れま宣言キャンペーン」ゴールデンウィーク期間の結果について(H28.5.9掲載)より集計(集計対象: 19便/日×8日間=152便)
開通前: H27.4.29(水)～H27.5.6(水)[8日間]、開通後: H28.4.29(金)～H28.5.6(金)[8日間]

<バス事業者(遠鉄バス)の声>

- 定時性・速達性の向上により、運転手の負担も軽減しました。
- お客様からも「定時性が向上したので、今後も利用したい」との声を頂いています。

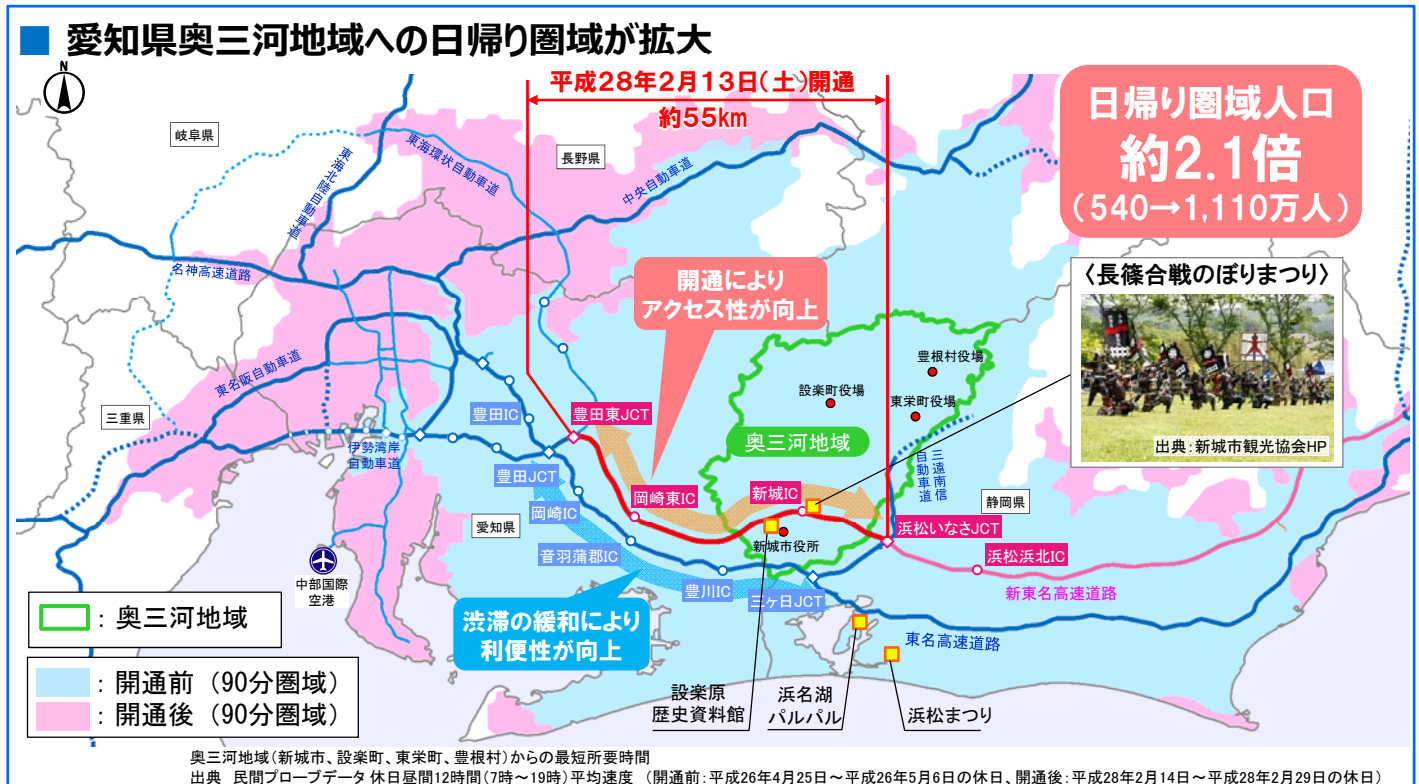


出典: ヒアリング調査 平成28年5月(国土交通省 中部地方整備局 浜松河川国道事務所)

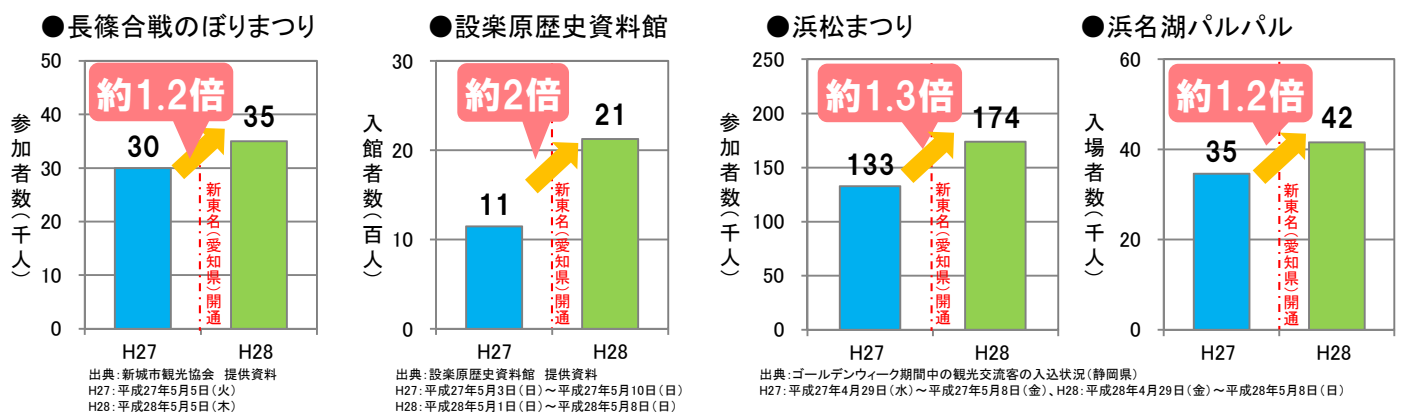
ニホンつながる
新東名

【ストック効果④】新東名の開通により沿線地域の観光活性化に貢献

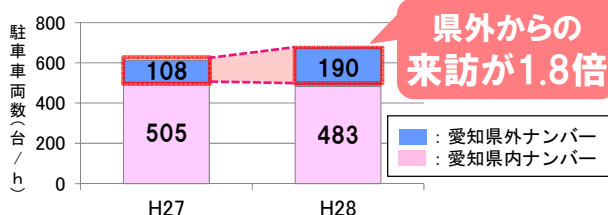
- 奥三河地域への日帰り圏域（圏域人口）が約2.1倍に拡大し、周辺の観光客が増加。
- 長篠合戦のぼりまつりでは、県外からの来訪者も増加。
- 今年のお盆期間も、渋滞の大幅減で、観光客の増加が期待。



■ 奥三河地域周辺の観光施設やイベントにおける来訪者数が増加



＜長篠合戦のぼりまつりの来訪者の車籍地＞



＜新城市観光協会の声＞

- 新東名の開通により、東京方面や関西方面の車両が増えました。
- 「長篠合戦のぼりまつり」では、午前中の早い時間帯から混み始め、盛況でした。



出典: ヒアリング調査 平成28年5月(国土交通省 中部地方整備局 名四国道事務所)

新東名高速道路 開通区間の概要

■新東名高速道路は、神奈川県と愛知県を結ぶ総延長約250kmの高速自動車国道です。
平成28年2月13日の延長約55kmの開通により、
御殿場JCT～豊田東JCT間、約200km（連絡路除く）が開通しています。

【開通区間の概要】

道 路 名：新東名高速道路（第二東海自動車道）

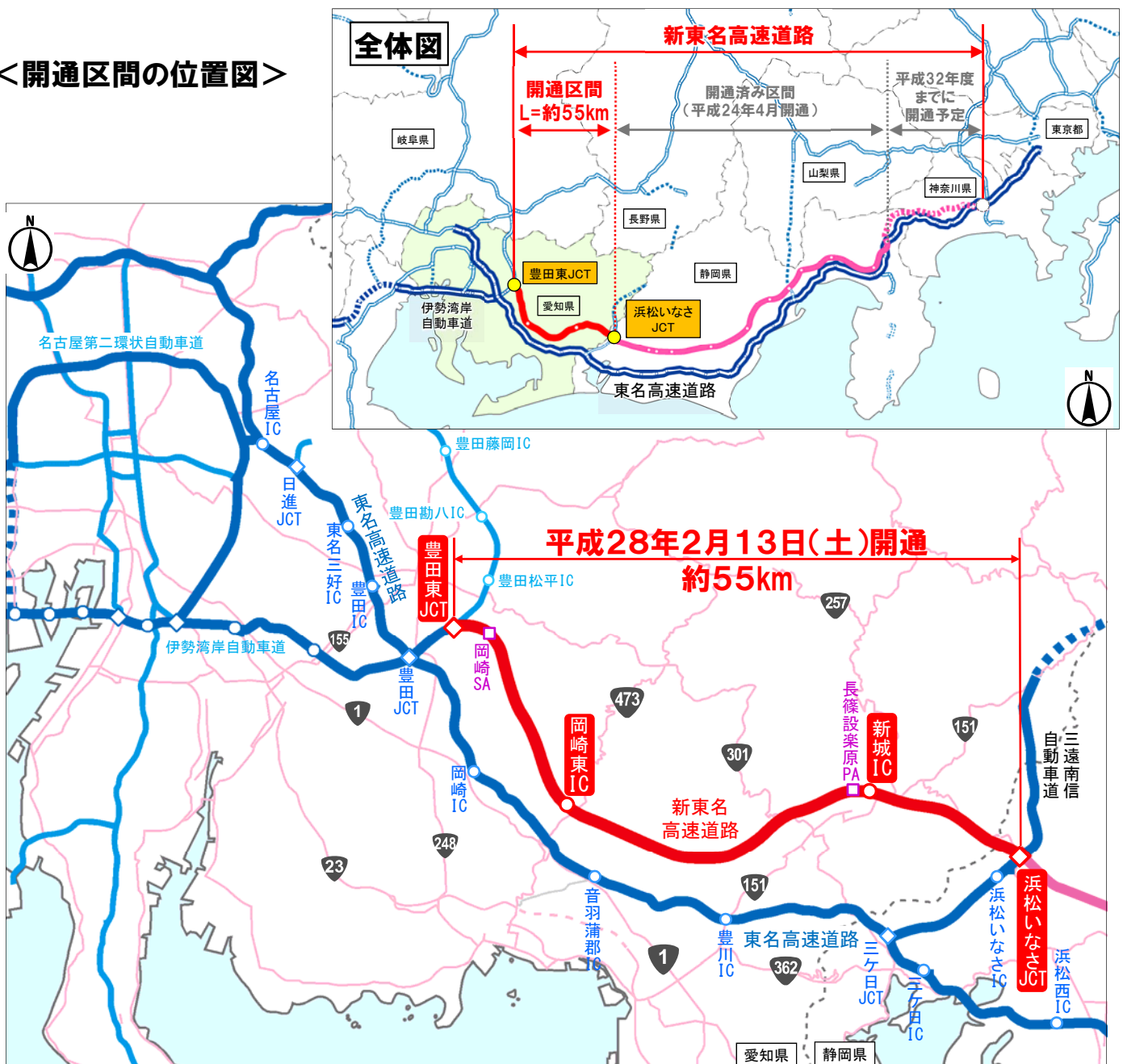
開 通 区 間：浜松いなさJCT（静岡県浜松市北区引佐町東黒田）
～ 豊田東JCT（愛知県豊田市岩倉町字山ノ神）

開 通 日 時：平成28年2月13日（土）15時

延 長：55.2km

車 線 数：6車線／4車線（暫定施工時）

＜開通区間の位置図＞



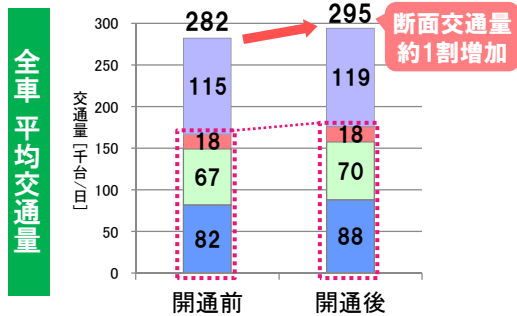
開通後の交通状況（交通量）

- 新東名高速道路（浜松いなさJCT～豊田東JCT間）は1日あたり約36,000台が利用しています。
- 隣接する名古屋断面(A)では 断面交通量が約1割、静岡断面(C) では、新東名高速道路の断面分担率が増加しました。

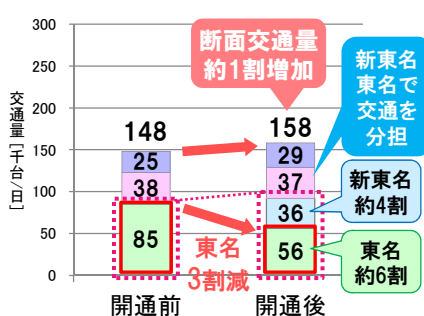
■ 周辺高速道路の断面交通量の変化



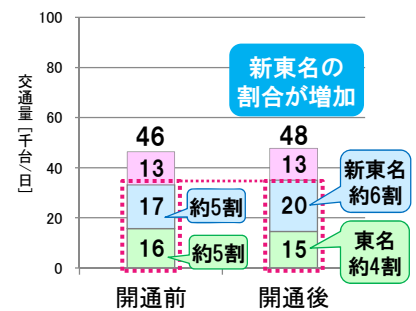
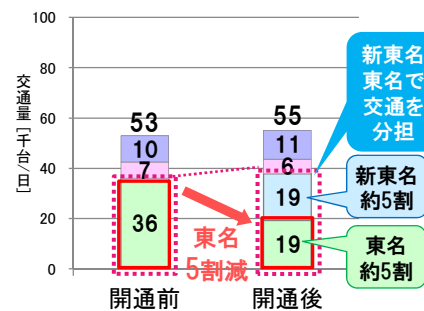
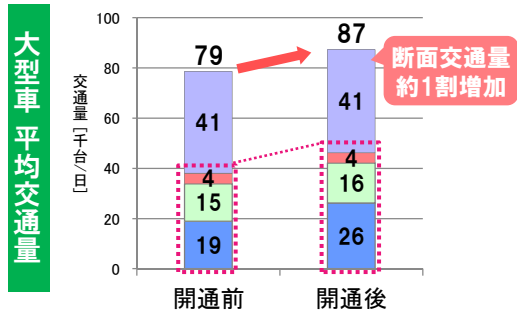
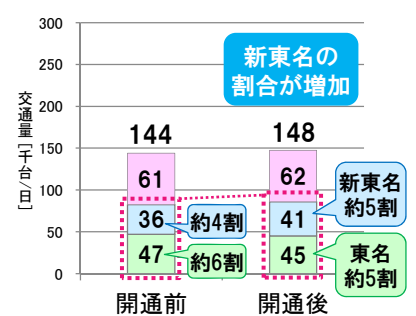
①名古屋断面(A)



②開通区間(B)



③静岡断面(C)



■ 伊勢湾岸 ■ 東名 ■ 東海環状 ■ 国道23号

■ 東名 ■ 新東名 ■ 国道1号 ■ 国道23号

■ 東名 ■ 新東名 ■ 国道1号

※・新東名高速道路（浜松いなさJCT～豊田東JCT間）の平均交通量
・東名高速道路（三ヶ日JCT～豊田JCT間）の平均交通量

出典：交通量 ・新東名高速道路、東名高速道路、伊勢湾岸自動車道、東海環状自動車道：車両感知器による速報値の平均交通量（中日本高速道路（株）資料）
・国道1号、国道23号：車両感知器による速報値（国土交通省中部地方整備局資料）
開通前（平成27年6月1日（月）～6月30日（火））、開通後（平成28年6月1日（水）～6月30日（木））の日平均交通量
※ 国道23号について、国道23号岡崎バイパス（西尾東IC～藤井IC）延長4kmの4車線化が平成28年2月26日に完成

新東名・東名高速道路の開通後の交通状況

■新東名高速道路（浜松いなさJCT～豊田東JCT間）開通後の6月の平均交通量は、約36,000台/日（平日：約35,300台/日、休日：約37,600台/日）でした。

新東名高速道路		開通前			開通後			増減率		
		全日	平日	休日	全日	平日	休日	全日	平日	休日
御殿場JCT～長泉沼津IC		38,000	37,100	40,500	40,700	39,700	43,700	7%	7%	8%
長泉沼津IC～新富士IC		40,200	39,500	42,100	44,100	43,500	45,700	10%	10%	9%
新富士IC～新清水IC		40,500	40,000	41,900	44,800	44,400	45,900	11%	11%	10%
新清水IC～新清水JCT		40,900	39,700	44,100	45,300	44,100	48,300	11%	11%	10%
新清水JCT～新静岡IC		37,100	36,500	38,700	41,500	41,100	42,700	12%	13%	10%
新静岡IC～静岡SAsマ-NC		35,600	35,100	36,700	40,800	40,400	42,000	15%	15%	14%
静岡SAsマ-NC～藤枝岡部IC		35,700	35,100	37,400	41,200	40,800	42,300	15%	16%	13%
藤枝岡部IC～島田金谷IC		35,100	35,000	35,600	40,300	39,900	41,300	15%	14%	16%
島田金谷IC～森掛川IC		34,900	34,200	36,800	40,200	39,600	41,700	15%	16%	13%
森掛川IC～浜松浜北IC		33,900	33,300	35,300	39,900	39,500	41,000	18%	18%	16%
浜松浜北IC～浜松SAsマ-NC		35,900	36,200	35,100	44,900	45,200	44,000	25%	25%	25%
浜松SAsマ-NC～浜松いなさJCT		31,900	31,800	32,200	43,800	43,500	44,600	37%	37%	39%
浜松いなさJCT～新城IC 【平成28年2月13日(土)開通】		-	-	-	34,600	34,200	35,700	-	-	-
新城IC～岡崎東IC 【平成28年2月13日(土)開通】		-	-	-	35,700	35,000	37,600	-	-	-
岡崎東IC～豊田東JCT 【平成28年2月13日(土)開通】		-	-	-	37,400	36,700	39,100	-	-	-
引佐連絡路 (新東名-東名 連絡路:浜松市)	浜松いなさJCT～ 浜松いなさIC	36,100	36,000	36,100	8,400	7,900	9,800	-77%	-78%	-73%
	浜松いなさIC～ 三ヶ日JCT	33,600	33,400	34,100	8,500	8,000	9,800	-75%	-76%	-71%
清水連絡路 (新東名-東名 連絡路:静岡市)	清水JCT～ 清水いはらIC	8,700	8,300	10,000	9,000	8,500	10,400	3%	2%	4%
	清水いはらIC～ 新清水JCT	8,900	8,300	10,400	9,300	8,800	10,700	5%	5%	3%

東名高速道路		開通前			開通後			増減率		
		全日	平日	休日	全日	平日	休日	全日	平日	休日
三ヶ日JCT～豊川IC		68,400	67,700	70,300	39,600	39,400	40,200	-42%	-42%	-43%
豊川IC～音羽蒲郡IC		78,900	79,000	78,700	49,500	50,000	47,900	-37%	-37%	-39%
音羽蒲郡IC～岡崎IC		92,400	92,600	91,900	64,000	64,500	62,700	-31%	-30%	-32%
岡崎IC～豊田JCT		102,900	103,200	101,900	74,000	74,700	72,200	-28%	-28%	-29%

出典：交通量 ・新東名高速道路、東名高速道路：車両感知器による速報値の平均交通量（中日本高速道路（株）資料）
開通前（平成27年6月1日（月）～6月30日（火））、開通後（平成28年6月1日（水）～6月30日（木））の平休別日平均交通量